



さきばる

さいごまで きあいをいれて ねほりづよく がんばる子ども の育成

2月26日(金)

「親子読書の日」

親子で本に親しみ、本を通じて親子が共有する時間を持ちましょう。

それでもさきばるのさくらはさく

校長 長崎 克則

崎原歩こう会の開催中止を受けて

先日、崎原活性化委員会及び崎原子ども会において、今年度の「崎原歩こう会」の開催について中止、という判断がなされました。これは皆様も御承知の通り、全国的な感染拡大に歯止めがかからない、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応のための決定です。これまでの開催において、地域・保護者の皆様の御尽力によって、ここ数年は参加者数・知名度ともに伸びてきており、校区内外において楽しみにされていた方も多かったことと思います。まさに苦渋の決断となりました。

昨年11月16日、宇宙飛行士の野口聡一さんらに乗せた、宇宙船「クルードラゴン」の打ち上げが成功しました。スペースX社が開発したこの宇宙船の成功は、民間として世界で初めて運用段階に入るといふ素晴らしい快挙になりました。

野口聡一さんら搭乗員4人のチームは、この機体に「レジリエンス」(resilience)と名付けたそうです。

私は、恥ずかしながら初めて「レジリエンス」という言葉を耳にしました。「レジリエンス」という言葉は、もともと精神的な回復力や復元力という意味合いで使われている科学用語だったそうです。

前述の野口聡一さんら搭乗員4人のチームも、「【困難から回復する力】」などの意味があり、新型コロナウイルスで苦しむ世界が元に戻るための力になりたいとの思いを込めて決めた。」というコメントを出しています。

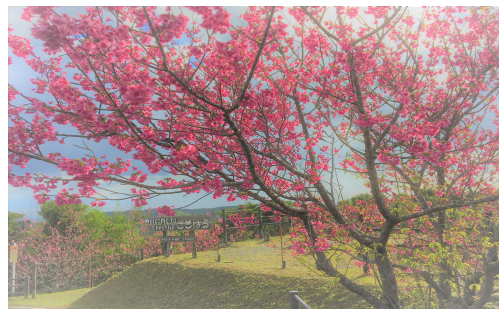
新型コロナウイルス(COVID-19)の出現、そしてパンデミックは、これまで誰も経験したことがない未曾有の事態をもたらしています。そして、現在も全世界において終息の見通しが立たない状況を作り出しています。大きな歴史の流れとともに社会が急激に変化を続けています。

今では、「ポストコロナの時代はこれまでとは大きく異なる。」「コロナ以前にはもう戻れない。」とさえいわれています。

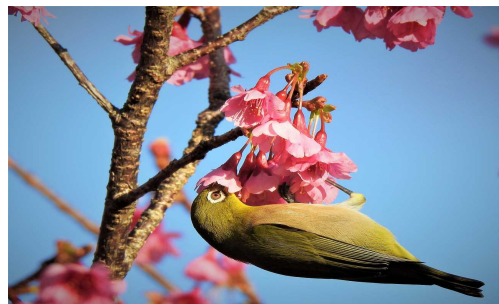
「ストレス」を回避するだけではなく、「ストレス」に立ち向かう力、あるいは「ストレス」から回復する力「レジリエンス」が注目されるようになってきているのです。

昔から、人間は季節の移り変わりを通して、生命の連続性や自然の中での時間経過を実感してきました。私たちは、台風などの自然災害があっても、毎年確実に開花しようとするヒカンザクラの小さなつぼみの中にも自然の回復する力「レジリエンス」を感じる事ができるのではないのでしょうか。

そして、今私たちにできること、「正しい知識に基づく冷静な行動を心がけること。」を遵守しながら、子どもたちの安全・安心を第一に職員が結束して、日々の教育活動に努力して参りたいと考えています。そして、来年の今頃は、子どもたちの元気な声や参加者の笑顔が崎原桜通りにあふれる日が再び来ることを信じています。



崎原展望所のヒカンザクラ



ヒカンザクラとメジロ

受験シーズン到来! ~ 私立入試始まる ~

大学入学共通テストを皮切りに、いよいよ本年度も受験シーズン到来です。

本校の中学3年生も、まずは私立高校受験に向けて、実力テストによる模擬演習、過去問題へのチャレンジ、面接練習等を行いながら、来る入試へと準備を整えております。

入試日程としましては、一月中に私立高校入試、そして3月9日(火)・10日(水)に、公立高等学校入学者選抜学力検査が実施されます。コロナ禍の状況の中で、健康管理に最大限の注意を払いながら、入試に臨まなければならない、これまでの受験生以上に苦勞の多い受験となっておりますが、ぜひ自己実現のために、苦難を乗り越え、合格を勝ち取ってほしいと思います。

「画竜点睛(がりょうてんせい)」という四字熟語があります。これは、物事を完成するために、最後に加える大切な仕上げのたとえです。この言葉は中国の故事に由来します。

中国六朝時代、梁(りょう)の絵の大家張僧繇(ちようそうりょう)が都金陵(きんりょう)の安樂寺に四頭の竜の絵を描いたが、睛(ひま)を描き入れると竜が飛び去ってしまうと言っ、睛を描き入れなかった。世間の人はこれをでたらめだとして信用せず、是非にと言っ無理やり睛を描き入れさせたところ、たちまち睛を入れた二頭の竜が天に昇り、睛を入れなかった二頭はそのまま残った。(goo辞書より)

「画竜点睛」という言葉は、「画竜点睛を欠く」と用いることが多く、この場合は最後の仕上げが不十分で、肝心なところが欠けているため精彩がないことを言います。

中学3年生にとっては、義務教育の集大成の時期が来ており、卒業後の進路を決めることは、言わば「最後の仕上げ」を行うことと同じです。この最後の仕上げが不十分にならないように、これまで積み上げてきた学習の成果を最大限に発揮し、(竜の睛を描き入れ、竜が天高く昇っていけるように、)最後の詰めを頑張っしてほしいと願っています。「画竜点睛を欠く」ことなく、中学校卒業、そして進路決定のゴールテープを切りましょう。

栄光の軌跡 ~ 児童生徒の受賞の記録 ~

第71回鹿児島県図画作品展

特選 竹下 茅依 (小4)

〃 麻井 琴乃 (中2)

入選 安田 直矢 (小2)

〃 辺木 颯太 (中3)

第66回青少年読書感想文全国コンクール

県入選 畠 あい (小6)「一〇五度」を読んで

〃 愛川 琥珀 (中2) わたしにできること

受賞、おめでとうございます。

応援しています ~ 徳之島からの便り ~

学校にも年始めには、取引業者さんや卒業生が進学した高等学校等より、多くの年賀状が届きます。そのハガキの中に、崎原小中学校へのエールを綴ったものがありました。徳之島から送っていただいたハガキを紹介したいと思います。もちろんお名前も書いてありましたが、ここでは、お名前の紹介は控えさせていただきますと思います。



はじめまして、「〇〇」と申します。12月24日の南海日日新聞に掲載されていた「赤いポインセチア見頃 崎原小中」の記事を見て、数十年前のことが懐かしく思い出され、突然ですがペンをとりました。写真は、その頃のカレンダーです。当時は毎年ポインセチアの赤と緑で染めつくしていました。崎原の花を見に、遠く市内から、多くの方々ドライブにいらしていました。いたけ、すみ、花...等々 これからも楽しみにしています。そして応援しています。 徳之島より 〇〇〇〇

十数年前の花いっぱい崎原校の写真、そして、子どもたちへの応援メッセージをいただき、心が温まりました。これからも子どもたちの情操教育のために、緑化活動や環境整備に力を尽くしていきたいと思ひます。ありがとうございました。

2月の行事予定

- 2 / 2 (火) スクールカウンセラー教育相談
- 2 / 4 (木) 大川小とのオンライン交流学習(小)
- 2 / 5 (金) 学年末テスト(中3)
- 2 / 8 (月) 学年末テスト(中3)
- 2 / 9 (火) 学年末テスト(中3)
- 2 / 10 (水) 卒業生を送る会・お別れ遠足
- 2 / 12 (金) 算数・数学検定 漢字検定
- 2 / 13 (土) 土曜授業 なわとび発表会(小)
- 2 / 15 (月) いきいき生活ウイーク(~21日)
- 2 / 24 (水) 学年末テスト(中1・2)
- 2 / 25 (木) 学年末テスト(中1・2)
- 2 / 26 (金) 学年末テスト(中1・2)

授業参観・学級PTA・家庭教育学級